

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：わおわお仲町台保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：市村 由紀子	定員（利用人数）：107名	
所在地：〒224-0041 横浜市都筑区仲町台5-6-11		
TEL：045-941-8033	ホームページ： http://www.waowao.or.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 わおわお福祉会		
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：6名	
専門職員	（専門職の名称）：名 保育士：17名	
	看護師：1名 栄養士：1名	
施設・設備の概要	（居室数）	
	居室：0歳児室	（設備等） 設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：乳児トイレ（沐浴室）
	居室：3歳児室	設備：幼児トイレ
	居室：4歳児室	設備：医務室
	居室：5歳児室	設備：事務室
	設備：相談室	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

ほめて・みとめて・はげまして
やる気を育て、自分で考えて行動できる子どもを育てる

<基本方針>

- 「一歩一歩確実に、前に進める力を持った子どもに」
～心も身体もたくさん使い、たくさん遊んで、たくさん話して、たくさん考え、たくさん食べて、たくさん眠る。そして仲間と共に大きな声で笑い合える。笑顔満開保育園をめざす。～
- 子ども中心の保育。子ども一人ひとりの内面を捉える。
～子ども一人ひとりの姿・特性を捉えて、保育計画をたてる。～
- 地域から選ばれる園になる。子育てステーションをめざす。

<保育目標>

1. 豊かな人間的ふれあいを通じて、“人と人との信頼”の価値と尊さを身につけます。
2. 子どもの社会性を培い、人間性を育むうえでの“正しい習慣”を身につけます。

3. 面白いね！ ふしぎだね！ すごいね！ という体験を豊富に積み重ね“創造性の芽生えとやる気を育てます。
4. “もじ・かず・ことば”への興味や関心を育てます。
5. 人と人とのつながりを大切に“元気で明るく、笑顔であいさつできる子どもを育てます。
6. やさしい気持ちを養い、忍耐力・正義感・自制心をもつ、豊かな心を育てます。
7. 命の尊さを知らせ、慈しむ心と感謝の心を育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ＜わおわお仲町台保育園の特徴的な取り組み＞
1. 子育てステーションの設立を目指している。
 2. キャリアパス研修を法人で、園長が中心に行っている。
 3. 新卒導入研修
 4. 子どもの年齢別研修（0～5歳児）

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月12日（契約日） ～ 2023年03月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

- 【わおわお仲町台保育園の概要】
- わおわお仲町台保育園は、社会福祉法人わおわお福祉会（本部：横浜市鶴見区駒岡）が運営している認可保育所です。わおわお福祉会（以下、法人という）は、平成15年9月に設立し、翌年4月にわおわお保育園を開園しました。その後、大倉山、元住吉、センター北、東寺尾と新規開園を続けました。平成26年4月に都筑区仲町台の地に6番目の保育園として開園したのが仲町台保育園です。わおわお福祉会は、その後も、江ヶ崎、蒲田本町（東京都）で開園し、現在は合計8園の保育園を運営しています。
 - わおわお仲町台保育園は、横浜市営地下鉄ブルーライン仲町台駅から徒歩3分の所に位置しています。近辺の用途地域区分として、保育園が立地しているブロックは第二種住居地域であり、南側は準住居地域、東側が近隣商業区域となっており、園舎が建っている東南角地は、区分の境界地点でもあります。近隣商業区域では集客力のある小売店舗はなく、さらに自動車交通量も少ないため、駅近くでありながら閑静な雰囲気が保たれています。また、保育園前の道路には歩道があり、出入り口も後方に約2メートル下がっているので、園舎前はスペース的なゆとりがあり安全です。
 - 保育園の建物は、鉄筋コンクリート3階建てです。建物の外側に張り出している階段部分や壁面等は、ロゴと共にわおわおのテーマカラーである赤色、青色、緑色のビビッドな基調で彩られ、わおわおの保育園として象徴されています。園内は、1階に0歳児室、1歳児室、調理室を配置し、2階には2歳児室、3歳児室、4歳児室、5歳児室を配置しています。そして、3階は、全面を屋上庭園とし、子どもたちが活発に体を動かせる場所を確保しています。
- ◇特長や今後期待される点
1. 【総合的に水準の高い保育サービスを提供】
わおわお仲町台保育園は、保育園と保育園を管理統括する法人とが一体となって、質の高い保育サービスを提供するために真摯に取り組んでいると評価することができます。それは、例えば、以下の取り組みに表れています。①「ほめて・みとめて・はげまして」の保育理念どおり、日頃から子どもを褒め、認め、励ましながら、自分でやろうと

する気持ちを育てている。②知育、英会話、体育の独自カリキュラムを取り入れ、専門講師に指導してもらっている。③借用している畑で10種類以上の野菜を育てる、給食で郷土食や世界の料理を提供する等、食育に力を入れている。④新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）で中止しているものもあるが、様々な地域交流の場・機会を作っている。そして、保育を担う職員の育成、教育等マネジメントに関わる部分でも法人が主体となって体制を整えています。さらに、キャリアパスを定めると共に、分野別リーダー、専門リーダー等のポストを設け、中堅職員に活躍の場を提供し、勤続年数やポストに応じた研修体系を構築しています。また、職員マニュアル、業務手順書等、体系的かつ詳細なマニュアルを整備しています。こうした取り組みが保護者から評価されていることは、第三者評価で実施した保護者アンケートにおいて、総合的な満足度が96%と高い数値であったことから判断できます。自由意見では、「担任でない先生も名前を呼んであいさつしてくれる」、「子どもが楽しく通園している」等、感謝の意見が多く挙がっています。

2. 【保護者及び職員の意向把握】

わおわお仲町台保育園は、全体的に水準の高い保育が提供されており、その結果として保護者満足度も高いのですが、その一方で、第三者評価の利用者アンケートでは、(1)保育サービスの提供方法の統一性（どの職員も同じように保育をしてくれているか）、(2)保育園からの情報提供や保育園との意見交換、については、「やや不十分」とする回答が目立っています。自由意見でも、そのことについて具体的事実を示した上での不安等の表明が少なからず見られます。高い総合満足度と個別部分での「不十分」という回答との落差の原因として、個々の具体的事実もさることながら、そうした事実に対する保護者の率直な思い、感情を保育園側が十分には掴みきれていないことが背景にあるように思われます。園では、(a)クラス懇談会（4月、2月）、(b)アンケート（主要行事後）、(c)日々のコミュニケーション（登園時及び降園時）、(d)個別面談（随時）等、保護者の意見、要望、苦情等を聞く場を制度として整えています。しかしながら、保護者自らの思いを保育園（保育士）に面と向かって言えない、伝えられない保護者も一定程度存在すると思われ、アンケートでのマイナス評価や改善要望意見の一因と考えられます。

3. 【利用者・職員満足に向けて】

わおわお仲町台保育園として、具体的に指摘された事実への対応策を講じることと併せて、例えば、第三者評価と同様のアンケートを年に1回程度実施し、現行制度では掴みきれなかった保護者の率直な思いを定期的に汲み取ることが期待されます。また、職員からも率直な思いを汲み取ることが望まれます。園長が年4回程度、個別面談を実施する等、職員の意見、意向を聞く制度がありますが、それに加えて、例えば、無記名アンケートを実施するといった措置の導入も検討に値すると思われます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：社会福祉法人わおわお福祉会 わおわお仲町台保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

保護者アンケートが少なかったなので、もっと集まって、本当にどのように思っているのか知りたかった。

また、1つ1つの意味が違うので、そこが共通目的として職員が共通認識を持って保育していけたらと思う。

日々の保育の振り返りには、とても役立った。

自己評価をすることで日々の問題点や課題が見えてきた。

<評価後取り組んだ事として>

1. 外部相談窓口の設置（職員に対する）

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり